大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2023年 第40週（10月2日～10月8日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　やや増加」

第40週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,119例であり、前週比7.4%減であった。定点あたり報告数の第１位は咽頭結膜熱で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.82、2.71、2.66、0.60、0.51である。

咽頭結膜熱は前週比10%減の752例で、中河内5.65、三島・南河内5.00、北河内4.96、堺市4.00であった。

感染性胃腸炎は2%減の534例で、南河内4.44、中河内3.95、三島3.94である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は3%減の524例で、北河内4.12、大阪市西部3.90、泉州3.29であった。

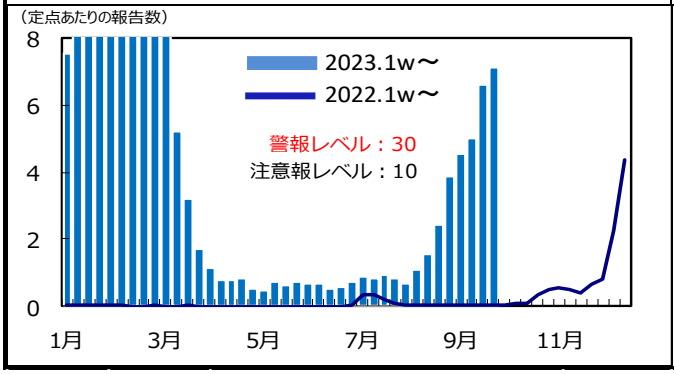
流行性角結膜炎は16%減の31例で、南河内1.25、中河内1.20、豊能・大阪市西部1.00である。

手足口病は20%減の101例で、三島0.94、中河内・大阪市西部0.90であった。

インフルエンザは8%増の2,183例で、定点あたり報告数は7.13である。泉州11.59、大阪市西部11.33、堺市8.79、中河内8.61、大阪市北部7.85であった。

新型コロナウイルス感染症は45%減の1,179例で定点あたり報告数は3.85である。堺市6.76、泉州4.79、大阪市南部4.11、大阪市西部3.93、北河内・大阪市北部3.85であった。前週と比べて、年齢階層別では各年齢層で減少した。

インフルエンザ



咽頭結膜熱

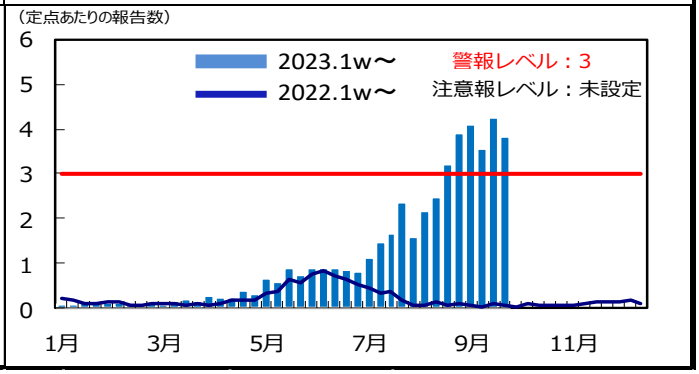


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第40週10月2日～10月8日）

第40週の順位	第39週の順位	感染症	2023年第40週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第40週の定点あたり報告数	2023年第40週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	咽頭結膜熱	3.82	10%減	0.05	３歳_19%
2	2	感染性胃腸炎	2.71	2%減	1.92	１歳_17%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.66	3%減	0.43	６歳_15%
4	4	流行性角結膜炎	0.60	16%減	0.15	20歳以上_65%
5	5	手足口病	0.51	20%減	2.05	１歳_28%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	7.13	8%増	0.01	10-14歳_28%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	3.85	45%減	－	10-19歳_21%

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第40週のコメント

～百日咳～　生後2か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌（*Bordetella pertussis*）による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

百日咳（大阪府感染症情報センター）
百日咳（国立感染症研究所）

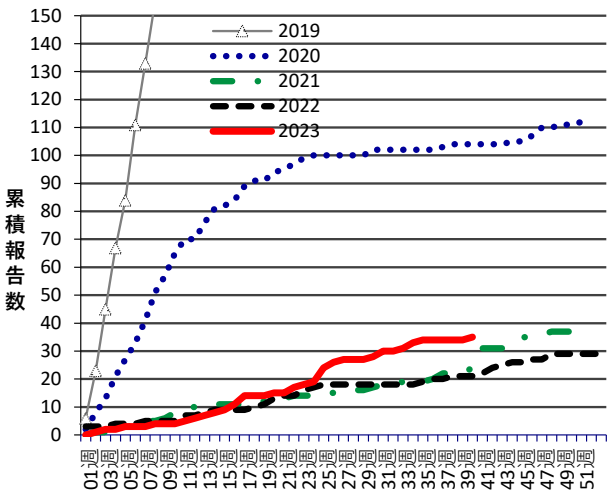


表２．大阪府全数報告数（2023年 第40週10月2日～10月8日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**2**			1	1					158
４類感染症	**マラリア（熱帯熱）**	**1**								1	3
	レジオネラ症（肺炎型）	**3**		1		1				1	111
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**	**3**		1						2	119
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**1**				1					43
	後天性免疫不全症候群	**1**		1							57
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**1**								1	41
	侵襲性肺炎球菌感染症	**2**	1					1			108
	水痘（入院例）	**1**			1						21
	梅毒	**5**						1		4	1,557
	百日咳	**1**							1		35
結核 （2023年8月分）	**結核　新登録患者数：56名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　20名） （府内累積報告数　713名、内　肺・喀痰塗抹陽性　249名）										

（2023年10月10日　集計分）